



〒488-0883 尾張旭市城山町長池下4517番地1
TEL 0561-52-1850 FAX 0561-52-1851



2017年 6月

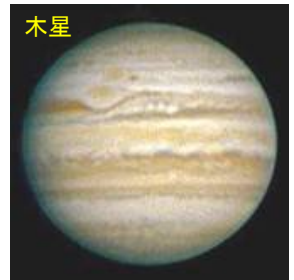
6月の観望天体

木星のまわりをくるくる回る4個の「ガリレオ衛星」

宵の夜空には木星がおとめ座の一等星スピカと並んで明るく輝いています。木星には60個以上の衛星が見つっていますが、特に大きな4個の衛星は、ガリレオ・ガリレイが発見したことから「ガリレオ衛星」と呼ばれます。望遠鏡で観察すると、日々、並び方が変化するように観察できます。

木星は太陽系5番目の惑星です。惑星の中でいちばん大きく、直径は地球の約11倍もあります。夜空では金星の次に明るく輝き、「真夜中の明星」と呼ばれることもあります。

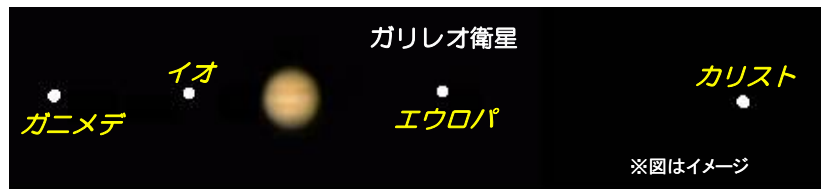
「イオ」は木星のもっとも近くを1.8日で回っています。地球の月と同じくらいの大きさで、活火山がありイオウを噴き出しています。



イオの外側には「エウロパ」が3.6日で回っており、表面は水でおおわれ、内部には液体の水があるのではないかと考えられています。

「ガニメデ」は太陽系内でいちばん大きな衛星で、惑星の水星よりも大きな衛星です。7.2日で回っています。磁場があることが確認されています。

「カリスト」はガリレオ衛星の中でいちばん外側を16.7日で回っています。水星と同じくらいの大きさです。氷と岩石できていると考えられ、表面には半径1500kmにもなるクレーターが見つかっています。



※図はイメージ

6月の夜間観望会

日曜日 19:30~20:30

※夜間観望会は「スカイワードあさひ星の会」が運営します。
※小中学生は保護者と一緒に来てください。
※天候や機器の整備等で中止する場合があります。
スカイワードあさひに16時以降にお問い合わせください。

開催日	主な観望天体
4日	月、木星 など コペルニクスとティコ、2つの大きなクレーターが見事です。
11日	月(20時20分頃月の出)、木星 など 6月9日は今年もっとも小さい満月でした。
18日	M13、木星 など M13は、ヘラクレス座の球状星団。数十万個の星の集まりです。
25日	土星、木星 など 今年も土星観望の季節がやってきました。

6月の太陽観望会



黒点やプロミネンスなどの太陽活動をHαフィルター太陽観測専用望遠鏡で観察しよう。

火・土・日曜日、祝日

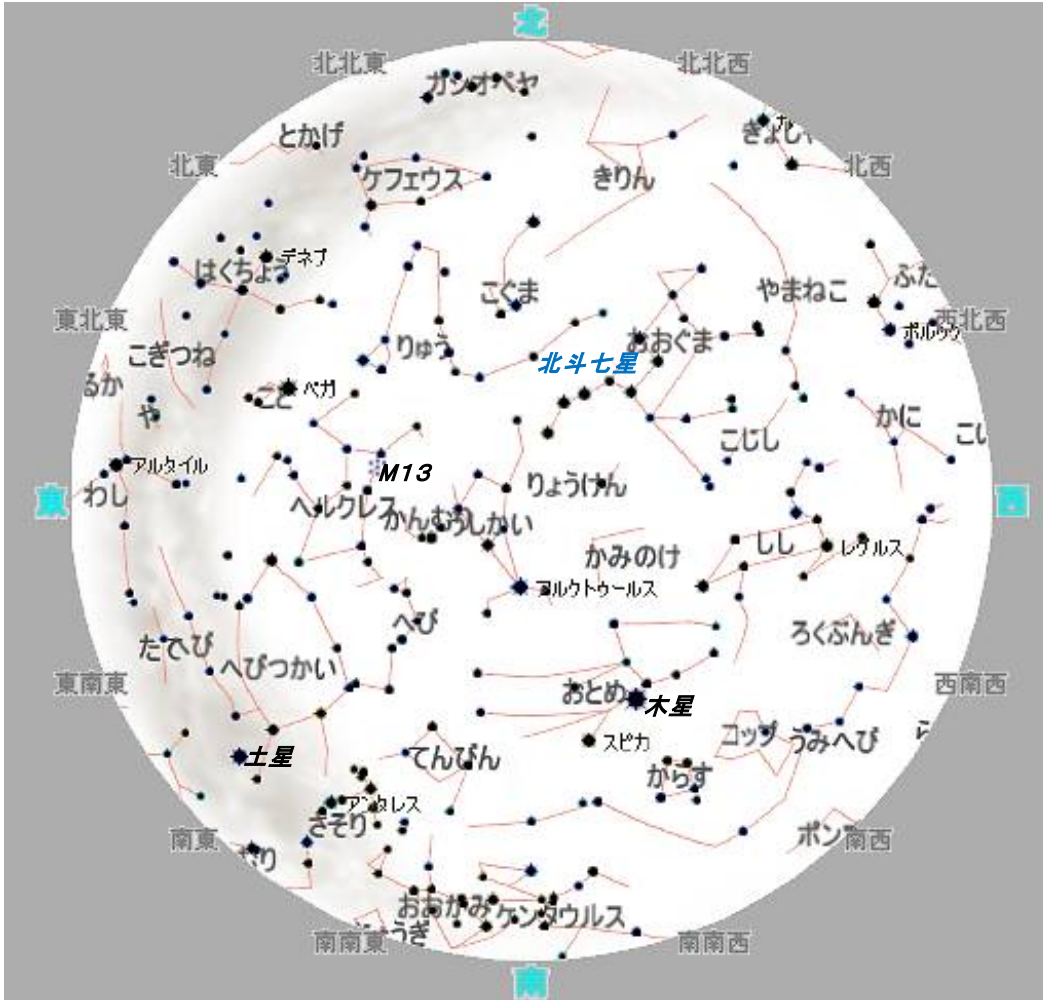
10:00~12:00
13:00~15:00



星の会会員撮影

6月の星空

2017年6月18日 午後8時



6月の惑星

- 水星 明け方の東の空
- 金星 明け方の東の空
- 火星 見られません
- 木星 宵の南の空
- 土星 宵の東の空
- 天王星 明け方の東の空
- 海王星 明け方の南の空

金星は3日に西方最大離角を迎えます。明け方の東の空に太陽からもっとも離れた「明けの明星」金星が見られます。

木星はおとめ座のスピカの近くで明るく目立っています。

土星は15日に衝を迎えます。衝とは、外惑星が地球から見て太陽の反対側にきたときです。このときはほぼ一晩中観察することができ、絶好の観望期になります。今年の土星は環が大きく開く(傾く)ためカッシーニの空隙など環のようすがしっかり観察できます。

日	曜	月齢	6月の主な天文現象
1	木	6.7	上弦の月
2	金	7.7	
3	土	8.7	金星が西方最大離角
4	日	9.7	月が木星に接近
5	月	10.7	(芒種)
6	火	11.7	
7	水	12.7	海王星が西矩
8	木	13.7	
9	金	14.7	満月(今年最遠)
10	土	15.7	木星が留
11	日	16.7	(入梅)
12	月	17.7	ジョンソン彗星が近日点通過
13	火	18.7	
14	水	19.7	
15	木	20.7	土星が衝



日	曜	月齢	6月の主な天文現象
16	金	21.7	
17	土	22.7	下弦の月
18	日	23.7	
19	月	24.7	
20	火	25.7	
21	水	26.7	(夏至) 水星が外合
22	木	27.7	月が金星に接近
23	金	28.7	
24	土	0.4	新月
25	日	1.4	
26	月	2.4	
27	火	3.4	
28	水	4.4	
29	木	5.4	
30	金	6.4	

ジョンソン彗星
J. A. ジョンソンが2015年11月3日に発見した彗星。5月~7月上旬、うしかい座からおとめ座を通ります。6月4日には地球にもっとも近づき、明るさは6等級程度と予想されます。

21日 夏至
北半球の日本では、春分から秋分までの間、太陽は真東より北側から昇り、真西より北側に沈みます。夏至には日の出、日の入りの方がもっとも北側になり、昼間がいちばん長くなります。
12月の冬至になると、日の出、日の入りがもっとも南側になり、昼の長さが短くなります。